



114
2554



リ 齎 スノ 鷹 有 之 候 ハニ 歟 ト 愚 考 仕 候 間 此 際 現 行 商 法 ノ 御 改 正 有 之 候 序 ヲ 以 テ 制 定 者 ノ 真 意 ヲ 云 凡 三 言 七 願 ハ ス 為 メ 最 モ 詳

親 展
勅 田 區 永 田 町 内 閣 總 理 大 臣 官 邸

伯 爵 大 隈 重 信 殿



緘

牛 込 區 市 谷 船 河 原 町 十 三 番 地
田 中 英 五 郎



114
2554



且曩^ニ御發布相成候民法商法等法文ノ儀、重^ニ新熟^ニ語ヲ用^キタ
 尤^モ歐文直譯的ノ字句ニ由^リテ託^サレタルモノナレバ法律學者ハ容易
 ニ之ガ解釋ヲ下^シ得^ルナラシモシカモ其之ヲ解スルニ當^リテ意義數様
 ニ分^ルルノ弊アルト及^ビ法律家以外ノ多數人民ガ此直譯的的文章
 リ成^リタル法家專用語ヲ解釋スルノ頗^ル至^ニ難^クナルコト否^シ解釋^シ能^ハ
 ガルコトトハ其^ノ誰^レ人モ認^ムル所^ニシテ大^ニ惑^フ所^ニ御座候
 抑^モ帝國ノ大法典タル民法及^ビ商法ハ凡^ソ人類社會生存ノ上^ニ必
 要^ク致^スク可^クラザルノ律法^{ナレバ}法律家以外ノ人士ト雖^モ一^ニ讀^ミ直^チニ其意
 ヲ解^シ得^ルルモノナラザル可^クラズ然^ラカバ人々思^ハサルノ犯罪思^ハサルノ損失
 ヲ釀^スル虞^有之候ハシ歟ト愚考^ハ候間此際現行商法ノ御改正モ
 有^之候序^ヲ以^テ制定者ノ真^意ヲ究^ムル^ニ言^ヒ顯^ハス為^メ最^モ詳^シ

民法商法等法文ノ儀、重^ニ新熟^ニ語ヲ用^キタ
 尤^モ歐文直譯的ノ字句ニ由^リテ託^サレタルモノナレバ法律學者ハ容易
 ニ之ガ解釋ヲ下^シ得^ルナラシモシカモ其之ヲ解スルニ當^リテ意義數様
 ニ分^ルルノ弊アルト及^ビ法律家以外ノ多數人民ガ此直譯的的文章
 リ成^リタル法家專用語ヲ解釋スルノ頗^ル至^ニ難^クナルコト否^シ解釋^シ能^ハ
 ガルコトトハ其^ノ誰^レ人モ認^ムル所^ニシテ大^ニ惑^フ所^ニ御座候
 抑^モ帝國ノ大法典タル民法及^ビ商法ハ凡^ソ人類社會生存ノ上^ニ必
 要^ク致^スク可^クラザルノ律法^{ナレバ}法律家以外ノ人士ト雖^モ一^ニ讀^ミ直^チニ其意
 ヲ解^シ得^ルルモノナラザル可^クラズ然^ラカバ人々思^ハサルノ犯罪思^ハサルノ損失
 ヲ釀^スル虞^有之候ハシ歟ト愚考^ハ候間此際現行商法ノ御改正モ
 有^之候序^ヲ以^テ制定者ノ真^意ヲ究^ムル^ニ言^ヒ顯^ハス為^メ最^モ詳^シ

密に取て平易なる文章に御書直に相成候力或は他ノ方法に據て社
會全般ノ者に容易に了解得様被成下候事満天下民人ノ至
大幸福に存候事謹言

明治三十一年八月十五日

東京市牛込区市谷船河原町三番地

田中英五郎

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿閣下